



会計事務所向けセキュリティ研修会

NTT DATA

Windows XP、Office 2003をお使いの方へ

Windows 8について

情報セキュリティ事故の与える影響

会計事務所が取るべき行動

- 1. 教育を行う**
- 2. ウイルス感染を防ぐ**
- 3. 情報を持ち出さない**
- 4. 電子化をする**
- 5. バックアップを取る**

ご存知ですか？

_____年_____月_____日

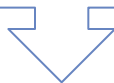


Windows XP、Office 2003のサポートが終了します。

サポート期間終了後のもっとも大きな影響は、**セキュリティ更新プログラムが提供されなくなることです。**これにより、XPのセキュリティ上の脆弱性や不具合が今後発見されても、それを修正する手段が失われるため、**ウイルス感染や不正アクセスのリスクが大幅に高まる**ことが想定されます。

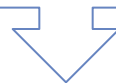
こんな誤解をしていませんか？

サポートが終了しても、**まだまだ使えるから大丈夫**



セキュリティ更新プログラムの提供が終了し、脆弱性が飛躍的に向上するため、ネットワークに接続して利用することは非常に危険です。攻撃者の格好の的となるためです。

漏洩して困るような**機密情報がないから大丈夫**



メールのアドレス帳にある顧問先の連絡先なども重要な機密情報です。また、事務所内のPCが踏み台となって、顧問先にウイルスを勝手に送りつけることもあります。

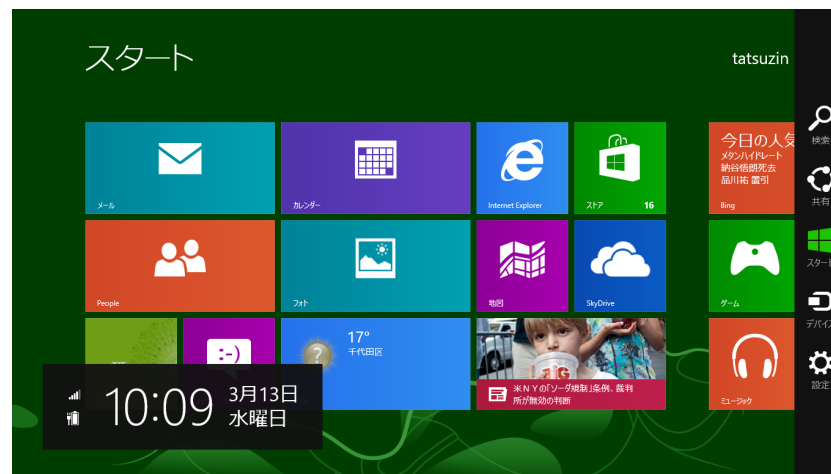
ウイルス対策ソフトが入っているから大丈夫



セキュリティ上の脅威には、OS更新プログラムの適用、マルウェア対策をはじめとする多角的な防御策が必要です。ウイルス対策ソフトだけで対応することは、もはや困難です。

【Windows 8の特徴】

- タッチUI
- ピクチャパスワード
- 2つのデスクトップ
- すべての動作が高速化



今までのタブレット端末では、業務に使うデータを持ち出すことは難しかったが・・・
Windows 8の普及により、業務に使うデータを簡単に外部に持ち出すことが可能となり、
情報漏えい等の情報セキュリティ事故が発生することが想定されます。

税理士先生だけでなく、会計事務所として情報セキュリティの意識を高めることが重要です。

【各OSのサポート終了予定日】

Vista: _____

Win7: _____

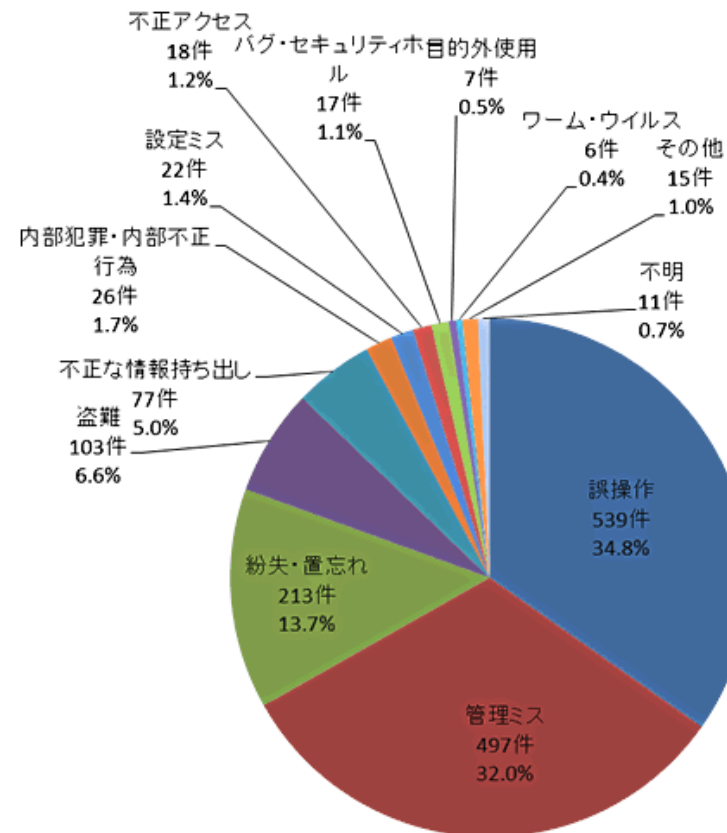
Win8: _____

想定される情報セキュリティ事故にはどのようなものがあるでしょうか？

- ・ノートパソコンの紛失、盗難
- ・USBメモリの紛失
- ・パソコンの誤操作によるデータの消失
- ・従業員による顧問先情報の不正持ち出し
- ・ウイルス感染による情報漏えい
- ・地震、火災、水害、落雷によるデータの消失



自然的な情報セキュリティ事故(地震・火災・水害・落雷)の発生に備えて、会計事務所においても **事業継続計画** (BCP: Business Continuity Planning) 策定が必要です。



特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会

- ・顧客の未公表の出店計画が記載されたメールを、事務所の職員が誤ってライバル企業に転送し流出させた。その結果、顧客が事業計画の変更を余儀なくされ、先行して行っていた設備投資について顧客から損害賠償請求を受けた。
- ・退職した職員が顧客の法人情報を持ち出し、転職先にその内容を流出させ、不正に使用して顧客から問い合わせがあった。このため被害法人に詫び状を送付するなどの事故対応費用が発生した。
- ・外部からの不正アクセスにより、メーリングリストに登録していた個人情報情報が漏えいしたことが報道で明らかになった。このため、お詫び状作成費用や謝罪のために支出する見舞い品の購入費用が発生した。
- ・顧客名簿のデータベース化を委託した外部業者が情報を流出させたことにより、顧客の一部がプライバシーの侵害を理由に損害賠償を請求した。

(株式会社 日税連保険サービス 税理士職業賠償責任保険 情報漏えい担保特約 パンフレットより)

見知らぬ会社からの頻繁なDM

架空請求

なりすましによる
財産上の被害

スティーカー被害

個人情報には常にその本人と密接に結びついています。そのため、悪意を持った相手に渡ってしまうと、**その本人に対して取り返しのつかない被害をもたらす**危険性があるのです。

日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)は損害賠償として想定される金額の算出式を考案しました。この式は「損害賠償額算出式 '03」と呼ばれ、下記のように計算します。2003年に考案された算式で、何度か見直しも検討されましたが、実際の判例ときわめて近い金額が算出されているため、今も使用されている算式です。

損害賠償額=基礎情報価値[500]

×機微情報度[10(x-1)+5(y-1)]

×本人特定容易度[6、3、1]

×情報漏えい元組織の社会的責任度[2、1]

×事後対応評価[2、1]

(x:精神的苦痛レベル y:経済的損失レベル)

100名分の個人情報が出た場合・・・

損害賠償額=基礎情報価値[500]

×機微情報度[10(2-1)+5(2-1)]

×本人特定容易度[6]

×情報漏えい元組織の社会的責任度[2]

×事後対応評価[1]

= _____円 × 100名 = _____円

	精神的苦痛レベル1	レベル2	レベル3
経済的損失レベル3	口座番号&暗証番号, クレジットカード番号&カード有効期限, 銀行のアカウント&パスワード	遺言書	前科前歴, 犯罪歴, 与信ブラックリスト
レベル2	パスポート情報, 購入記録, ISPのアカウント&パスワード, 口座番号のみ, クレジットカード番号のみ , 銀行のアカウントのみ	年収 ・年収区分, 資産, 建物, 土地, 残高, 借金, 所得, 借入れ記録	
レベル1	氏名, 住所 , 生年月日, 性別, 金融機関名, 住民票コード, メールアドレス, 健康保険証番号, 年金証書番号, 免許証番号, 社員番号, 会員番号, 電話番号, ハンドル名, 健康保険証情報, 年金証書情報, 介護保険証情報, 会社名, 学校名, 役職, 職業, 職種, 身長, 体重, 血液型, 身体特性, 写真(肖像), 音声, 声紋, 体力診断, ISPのアカウントのみ	健康診断, 心理テスト, 性格判断, 妊娠経験, 手術歴, 看護記録, 検査記録, 身体障害者手帳, DNA, 病歴, 治療法, 指紋, レセプト, スリーサイズ, 人種, 地方なまり, 国籍, 趣味, 特技, 嗜好, 民族, 日記, 賞罰, 職歴, 学歴, 成績, 試験得点, メール内容, 位置情報	加盟政党, 政治的見解, 加盟労働組合, 信条, 思想, 宗教, 信仰, 本籍, 病状, カルテ, 認知症, 身体障害, 知的障害, 精神的障害, 保有感染症, 性癖, 性生活

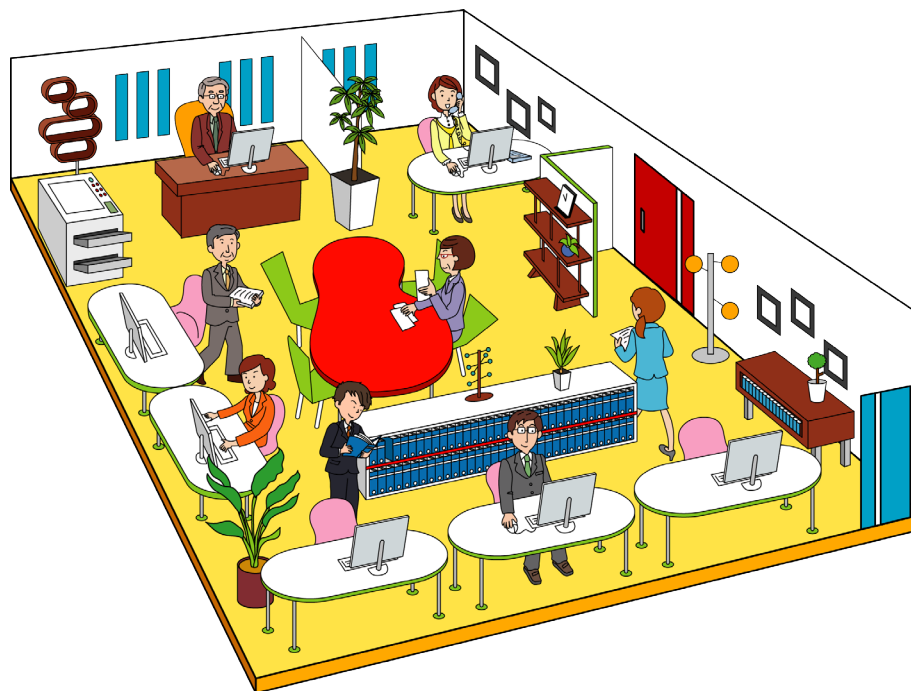
情報セキュリティ事故を100%なくすことはできません。

重要なことは・・・

- 情報セキュリティ事故の発生の**確率を低く**すること
- 情報セキュリティ事故が発生しても**被害を最小限**に抑えること

情報セキュリティ事故を起こさないために、会計事務所が取るべき行動

1. 教育を行う
2. ウイルス感染を防ぐ
3. 情報を持ち出さない
4. 電子化をする
5. バックアップを取る



情報漏えいのかなりの割合が従業員の不注意やルールを守らなかったことによって起きています。たとえ「うっかり」や「過失」であっても、大きな不利益をもたらすことには変わりありません。

・雇用契約時における非開示契約の締結

「**非開示契約**」とは従業者や外注先で当該情報を受けたものに対し、その情報を第三者に開示しない旨の義務を課す契約を言います。

・従業者に対する教育、訓練の実施

従業者のコンプライアンス意識を高めるには、**定期的な教育、訓練の実施**が不可欠です。

【参考】

・中小企業情報セキュリティ対策促進事業サイトの活用

(<http://www.jnsa.org/ikusei/>)



・情報セキュリティ対策支援サイトの活用

(<http://www.ipa.go.jp/security/isec-portal/>)



ウイルスに感染した場合、会計事務所のパソコンのデータ破壊やデータ漏えいとどまらず、感染が顧問先のパソコンにまで広がってしまう可能性があります。

【主なウイルスの感染経路】

・メールによる感染



・USBメモリによる感染



・ホームページからの感染

・フリーソフトによる感染

【ウイルスに感染した時の症状】

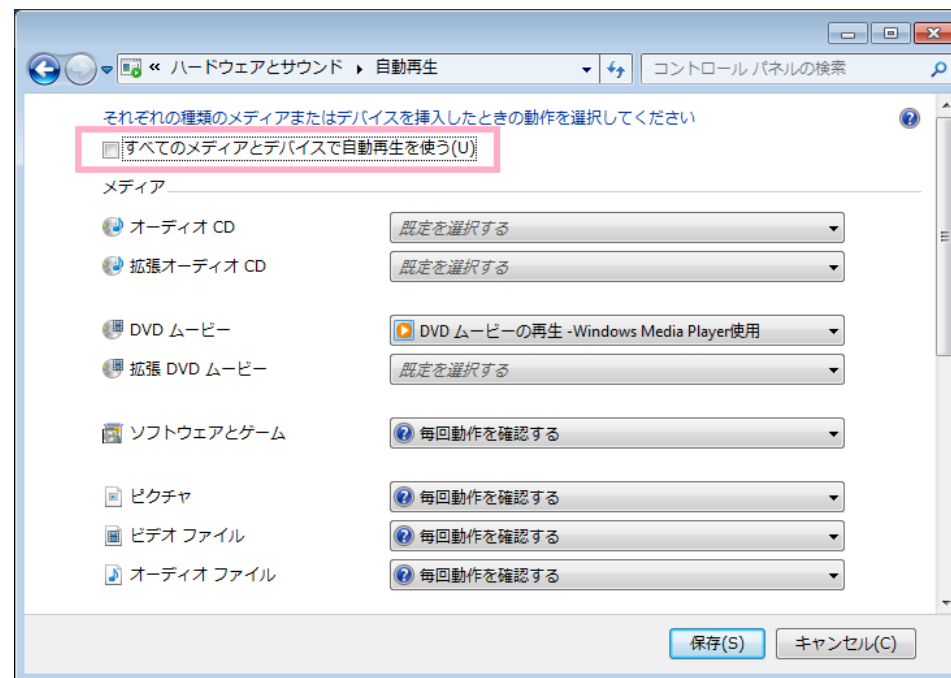
・ファイル、データが削除される

・ネットワークに負荷をかける

・パソコンの動作が不安定(遅く)になる

【参考】

USBメモリによる感染を防ぐには自動再生機能の無効化が有効です。



自動再生機能の無効化の方法 (Windows7の場合)
「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「自動再生」-「CDまたは他のメディアの自動再生」

ウイルス対策ソフトは、すべてのウイルスを検出・駆除できるわけではありません。

順位	製品名	検出率	誤検出数
1	G DATA AntiVirus 22.1.0.2	99.7%	13
2	AVIRA Antivirus Premium 12.0.0.915	99.4%	15
3	Kaspersky Anti-Virus 12.0.0.374	99.3%	9
4	Sophos Anti-Virus 10.0	98.9%	14
4	F-Secure Anti-Virus 12.49.104	98.6%	4
4	Panda Cloud Free Antivirus 1.5.2	98.6%	10
4	Bitdefender Anti-Virus+ 15.0.36.1530	98.6%	4
4	BullGuard Antivirus 12.0.215	98.6%	5
4	McAfee AntiVirus Plus 11.0.654	98.6%	28
10	Fortinet FortiClient Lite 4.3.3.0436	98.5%	32
10	eScan Anti-Virus 11.0.1139.1146	98.5%	11
12	Webroot SecureAnywhere 8.0.1.95	98.2%	428
13	avast! Free Antivirus 7.0.1407	98.0%	14
14	ESET NOD32 Antivirus 5.0.95.0	97.6%	2
15	PC Tools Spyware Doctor with Antivirus 9.0.0.909	97.2%	22
16	GFI Viper Antivirus 5.0.5134	97.0%	79
17	AVG Anti-Virus 2012.0.1913	96.4%	38
18	Trend Micro Titanium AntiVirus Plus 5.0.1280	95.6%	166
19	AhnLab V3 Internet Security 8.0.5.19	94.0%	64
20	Microsoft Security Essentials 2.1.1116.0	93.1%	0

(AV-Comparatives, On-Demand Comparative March 2012)

順位	製品名	防御力	修復力	使いやすさ	合計
1	Kaspersky: Internet Security 2012	6.0	6.0	5.0	17.0
2	BitDefender: Internet Security 2012	6.0	5.0	4.5	15.5
2	F-Secure: Internet Security 2012	5.5	5.0	5.0	15.5
4	G Data: Internet Security 2012	6.0	5.0	4.0	15.0
4	Symantec: Norton Internet Security 2012	5.5	4.0	5.5	15.0
6	AVG: Internet Security 2012	5.0	4.5	5.0	14.5
7	AVG: Anti-Virus Free Edition 2012	4.5	4.5	5.0	14.0
7	Avira: Internet Security 2012	4.5	5.0	4.5	14.0
9	Panda: Internet Security 2012	5.0	4.0	4.5	13.5
9	Trend Micro: Titanium Maximum Security 2012	5.5	3.0	5.0	13.5
11	BullGuard: Internet Security 12.0	6.0	3.0	4.0	13.0
11	GFI: Viper Antivirus Premium 2012	5.0	3.0	5.0	13.0
11	Panda: Cloud Antivirus Free Edition 1.5.1	5.0	2.5	5.5	13.0
14	McAfee: Total Protection 2012	4.5	3.0	5.0	12.5
14	PC Tools: Internet Security 2012	4.0	4.5	4.0	12.5
14	Qihoo: 360 Antivirus 2.0	5.5	4.0	3.0	12.5
17	Avast: Free AntiVirus 6.0	4.0	3.0	5.0	12.0
17	K7 Computing: Total Security 11.1	4.5	3.5	4.0	12.0
17	Microsoft: Security Essentials 2.1	2.0	5.0	5.0	12.0
17	Norman: Security Suite Pro 9.0	3.0	4.0	5.0	12.0

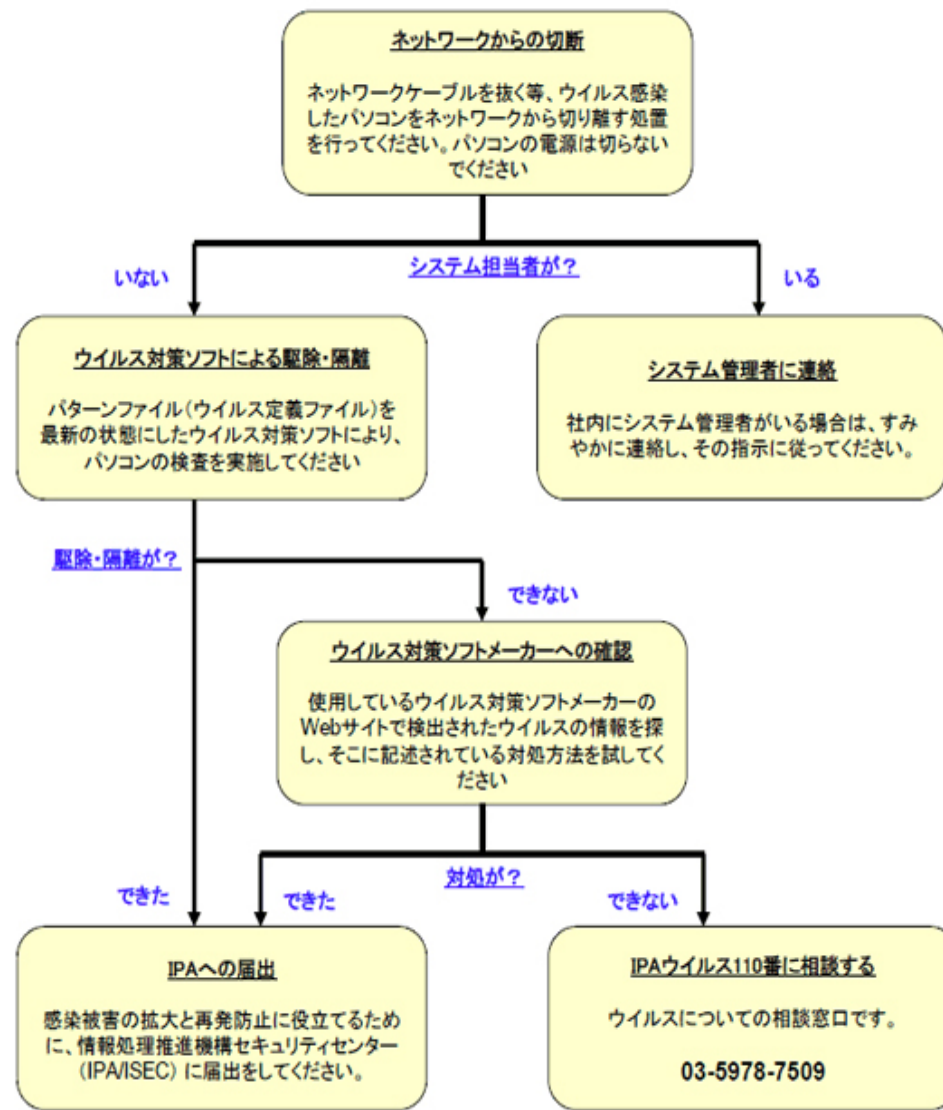
(AV-TEST, Test Reports Nov/Dec 2011, Home user products)

ウイルス感染を防ぐポイント

- ・パターンファイルを最新の状態に保つ
- ・出来るだけ最新のソフトウェアを使用する
- ・試用版ではなく製品版を利用する
- ・定期的にウイルススキャンを実行する
- ・全員共通のものを使用する

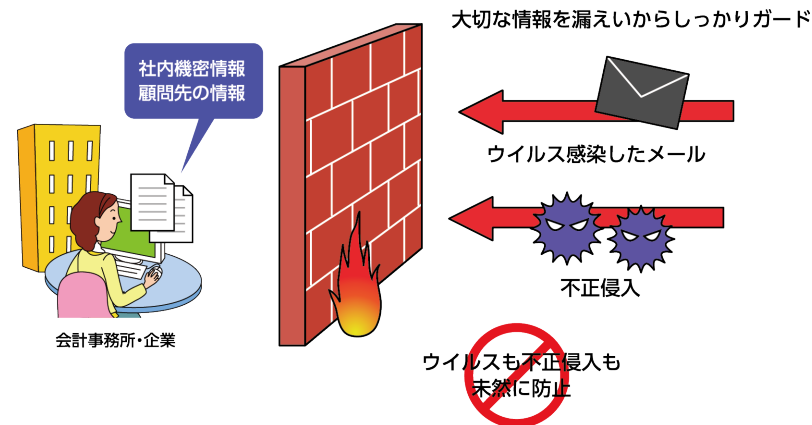
【参考】

GW、お盆、年末年始などの長期休暇の後には、ウイルス被害が多くなります。長期休暇中はパソコンが定期的に立ち上がり、同時にセキュリティ更新が行われないため、パソコンのセキュリティが弱くなったところにウイルスが侵入しやすくなるためとされています。



【機能の概要】

- ・電子メール、ウェブサイト、USBメモリ等の可搬媒体からのウイルス感染をリアルタイムで阻止。
- ・外部からの不正アクセスを監視、遮断するファイアウォール機能を搭載。
- ・偽装されたウェブサイトの閲覧によりインストールされるスパイウェアやアドウェアのインストールをブロック。



【特長1】

信頼性の高いエフセキュア社のアンチウイルスソフトを採用

【特長2】

1時間に1回、パターンファイルの更新を自動で参照するため、常に最新のパターンファイルでウイルス等の侵入を監視します。

【特長3】

「達人シリーズ」を利用しているパソコンであれば、月額1,000円で何台でも利用可能です。

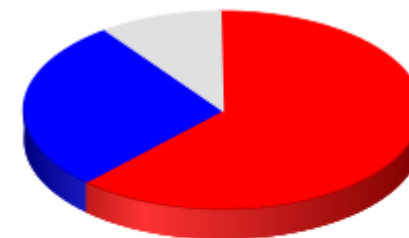
ウイルス感染の手段として悪用されている定番ソフトが以下の3つとされています。

1.Java 2.Adobe Reader 3.Adobe Flash Player

上記ソフトの更新を忘れることによりウイルス感染の可能性が非常に高くなります。

特に、会計事務所のパソコンにはJavaがインストールされているケースが多くあります。

※eLTAXで利用届出(新規)を出す時にJavaが必要になります。



■ Java / JRE (62%)
■ その他 (10%)
■ Adobe Reader (28%)

IBM Tokyo SOCによる2012年下半期の統計データを元に作成

【対策案①】

Javaを最新バージョンに維持し続ける

【対策案②】

利用届出(新規)を出すパソコンを限定する。

※ そのパソコンではJavaを最新バージョンに維持し続けるか、インターネット、メールを使わないようにする必要があります。

情報漏えいの8割が従業員の不注意やルールを守らなかったことによる人為的要因で起きています。情報を外部に持ち出した段階で、どんなに厳重な管理をしても100%安全ではなくなってしまいます。

- ・機密情報を印刷した用紙を管理する

機密情報を印刷した用紙はプリンタ、FAX、コピーなどの裏紙として再利用しない。破棄する場合、細かく裁断し、鍵のかかるゴミ箱に入れ、溶解業者へ処理を依頼する。

- ・ノートパソコンに機密情報を入れて持ち歩かない

PC遠隔操作(リモートコントロール)を利用して持ち出し用のノートパソコンから会計事務所内のパソコンに接続する。

- ・CD、DVD、USBメモリ、SDカード等の記録媒体を管理する

私物のUSBメモリの使用を禁止して暗号化機能、ロック機能、アンチウイルス機能のついたUSBメモリを貸与管理する。(参考:バッファローセキュリティUSBメモリ)

- ・パスワード機能を活用する

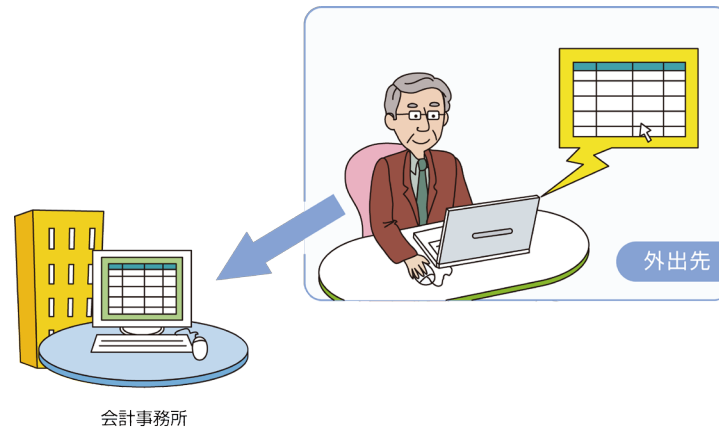
汎用性の高いZIP形式の圧縮ファイルにはパスワード機能があります。どうしても持ち出さなければならない機密情報にはパスワードを設定しましょう。

【機能の概要】

・外出先や自宅のパソコンからインターネットを通じて、事務所内のパソコンに接続し、あらゆる操作が可能。

・遠隔操作側へのデータ転送やプリンタへの出力等の制御が可能。

・遠隔操作中に接続先のパソコン画面を非表示にする設定が可能。



【特長1】

遠隔操作中の通信は常に暗号化されており、通信経路での情報漏えいへの対策など、セキュリティは万全です。

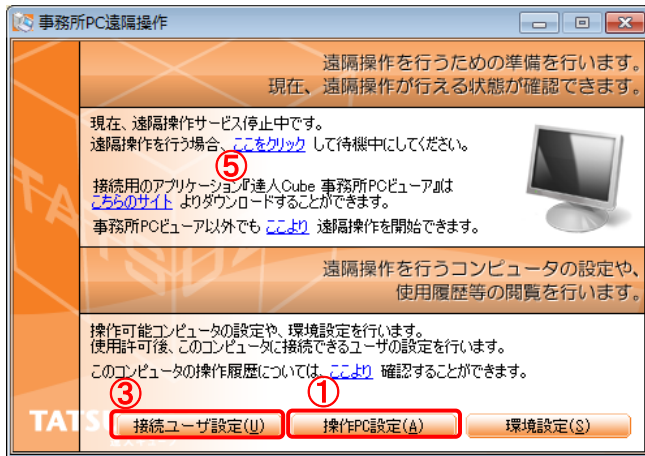
【特長2】

パソコンのロックを解除するために必要な「Ctrl+Alt+Del」キーの操作信号も送信可能。

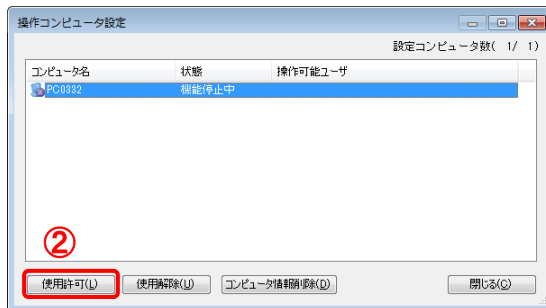
【特長3】

遠隔操作されるパソコンを1台単位で自由に設定できるのでニーズに合わせて無駄なくご利用いただけます。

1. 達人Cubeを起動して、事務所PC遠隔操作をクリックして、操作PC設定ボタン(①)をクリックします。

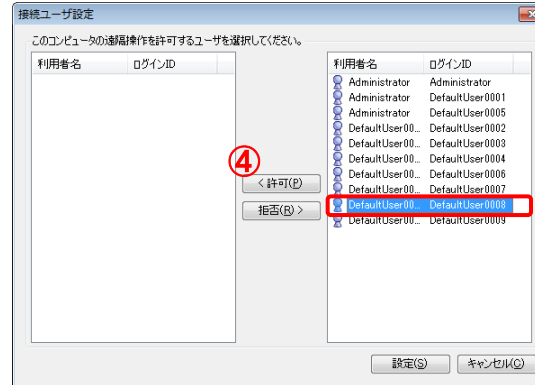


2. 使用許可ボタン(②)をクリックして、閉じるボタンをクリックします。



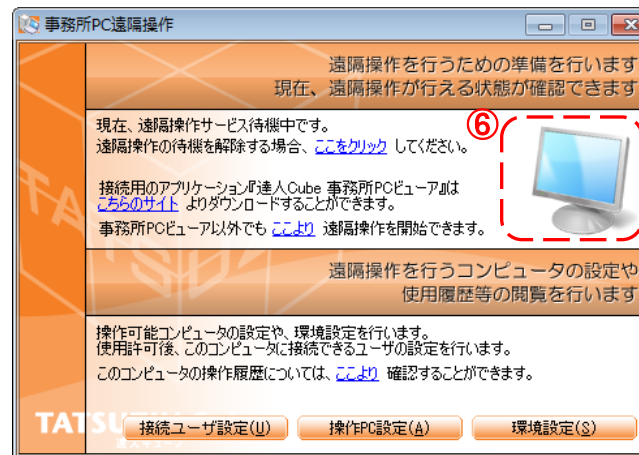
3. 接続ユーザ設定ボタン(③)をクリックします。

4. 遠隔操作を許可するユーザを選択して許可ボタン(④)をクリックして、設定ボタンをクリックします。



5. [ここをクリック](⑤)をクリックします。

6. 画面内のパソコン画面の色が黒色から水色(⑥)へ変更されれば完了です。



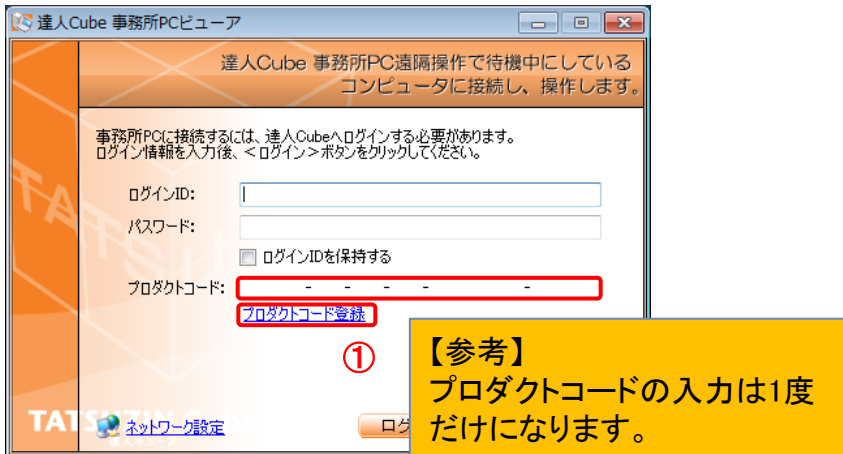
【参考】
 ・達人Cubeの管理者(システム所有者)または管理ユーザ権限が必要です。
 ・設定作業は最初に1度だけ行います。



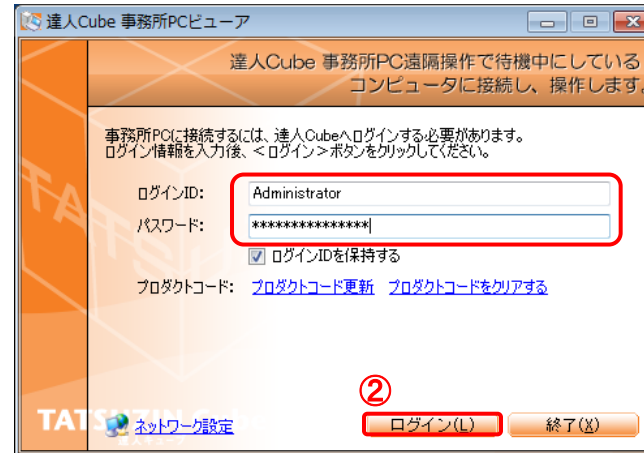
1.「事務所PCビューア」ダウンロードサイト
(<http://www.tatsuzin-cube.com/DL/PCViewer>)から
インストールする。



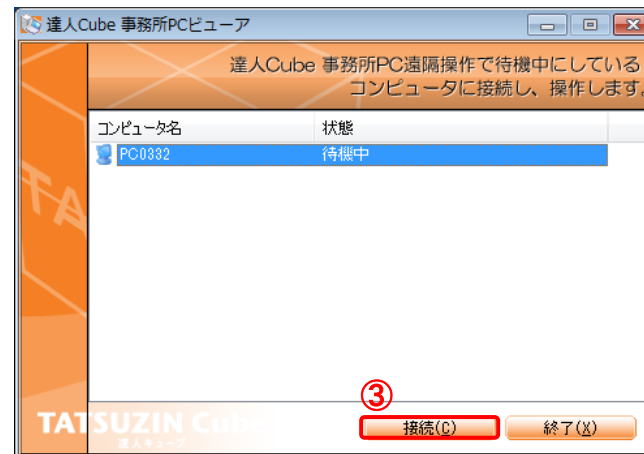
2.事務所PCビューアを起動し、プロダクトコードを入力してプロ
ダクトコード登録(①)をクリックします。



3.接続される側(事務所のパソコン)で許可した利用者のログインID、
パスワードを入力し、ログインボタン(②)をクリックします。



4.接続するパソコンをクリックして選択し、接続ボタン(③)をクリックします。



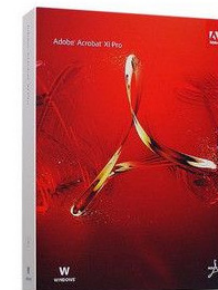
会計事務所内には、お客様からお預かりした大切な書類や過去の申告書など大量の紙媒体を取り扱っています。会計事務所以外の安全な場所に電子化された情報として保管しておくことが重要です。

もし・・・紙媒体で保管していた打場合、会計事務所の上階で火災が発生したらどうなりますか？

今までの紙媒体を一気に電子化するのは得策ではありません。まずは、これから出力する紙媒体を電子化しましょう。電子化に必要なソフトウェアはDocuWorks (15,800円)、Adobe Acrobat (36,450円) などがあります。

電子化することには多くのメリットがあります。

- 検索が早くなる
- 閲覧制限をかけることができる
- 保管庫などが不要になる
- クラウド上に保管することができる



「電子の紙」を実現するソフトウェア
DocuWorks 8

快適な「電子の紙」で
オフィスワークを素早くもっと効率的に。

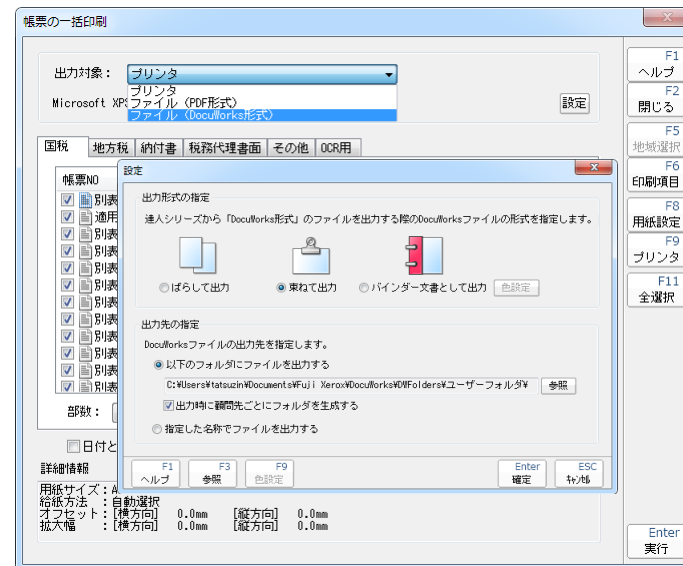
【機能の概要】

・「達人シリーズ」で作成した帳票を「PDF形式」または「ドキュワークス形式」で出力することが可能。

【参考】

「ドキュワークス形式」での出力には別途「DocuWorks®」(富士ゼロックス社製)のインストールが必要です。

・印刷と同様の操作でカンタンにPDFデータの出力が可能。



【特長1】

「達人シリーズ」の印刷操作と同じ操作で申告書等を電子データに出力することができます。

【特長2】

無償配布の「AdobeReader」を導入するだけでカンタン・手軽に電子化をはじめることができます。

【特長3】

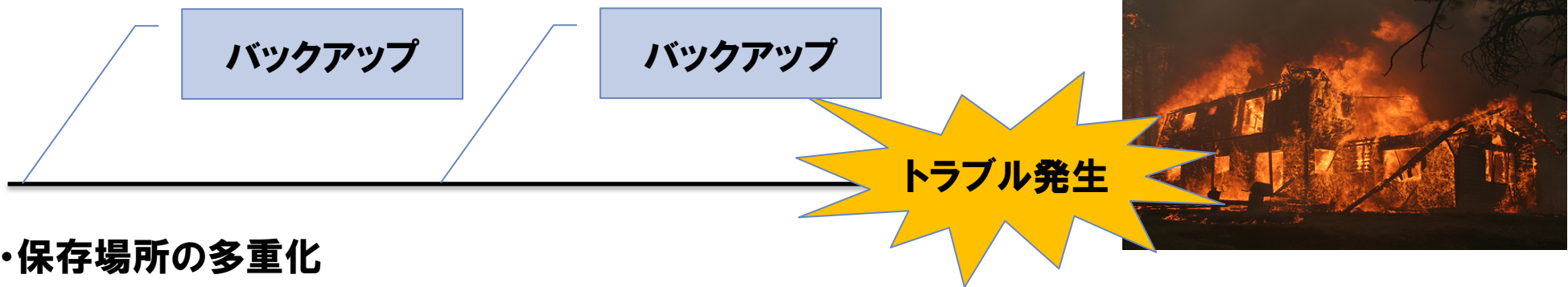
「DocuWorks」等の電子文書管理ソフトの導入により、データ結合や抽出など、加工もできるようになります。

不慮の事故などにより大切な情報資産を失った(紛失・改ざん)場合、「バックアップデータ」さえ保存されていれば最悪の事態を回避することができます。しかし、「バックアップデータ」も取得方法や保存方法によっては意味のないものになってしまいます。

バックアップを取るポイントは2つの多重化です。

・保存時間の多重化

「バックアップデータ」の取得タイミングが直近であればあるほど、情報資産の消失や作業の手戻りを少なくすることができます。しかし、直近の状態のバックアップのみの場合、情報資産の一部を消失または改ざんされた状態で保管している意味がありません。理想的には数日から数週間程度のバックアップを重複して保持しておくことが大切です。



・保存場所の多重化

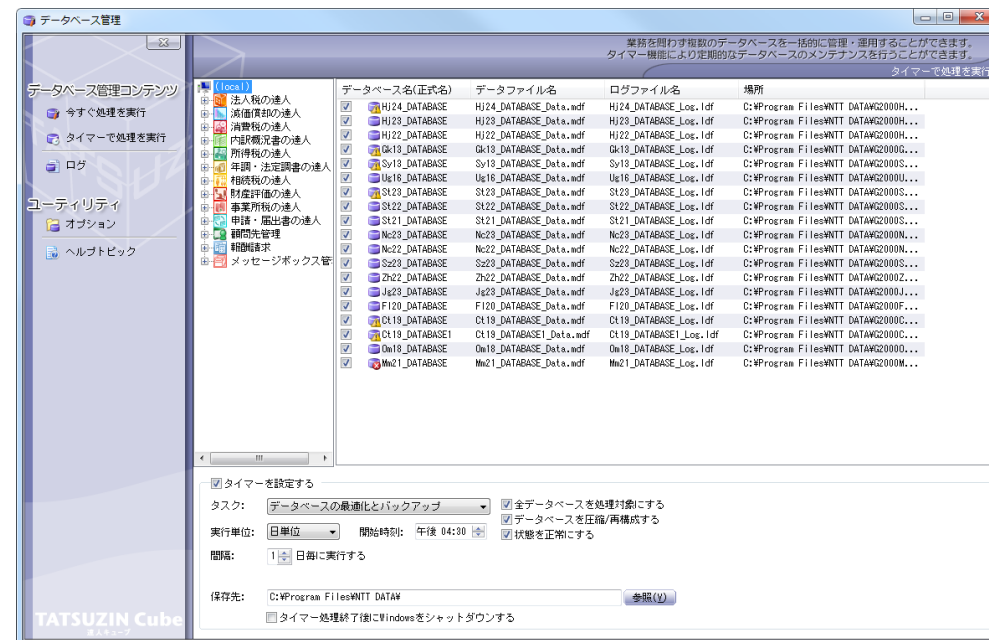
原本と同一の場所(パソコン、事務所)に保管していた場合、盗難・火災・災害等によりバックアップデータも消失してしまいます。原本とは別の場所且つ複数の場所に保管することで、よりリスクを低減することができます。最近ではクラウド上で保管するサービスが多数あります。

【機能の概要】

・「達人シリーズ」で作成した申告データをまとめてバックアップすることが可能。

・タイマー設定により、定期的にバックアップを取ることが可能。

・詳細な設定により、日付単位や週単位での取得、同一データの上書き設定などが可能。



【特長1】

保存先は自由に参照が可能なので、ネットワーク上の他のパソコン等にカンタンにバックアップを取ることができます。

【特長2】

タイマーバックアップ後に自動的にパソコンの電源を切ることも可能。パソコンへの負荷を軽減することができます。

【特長3】

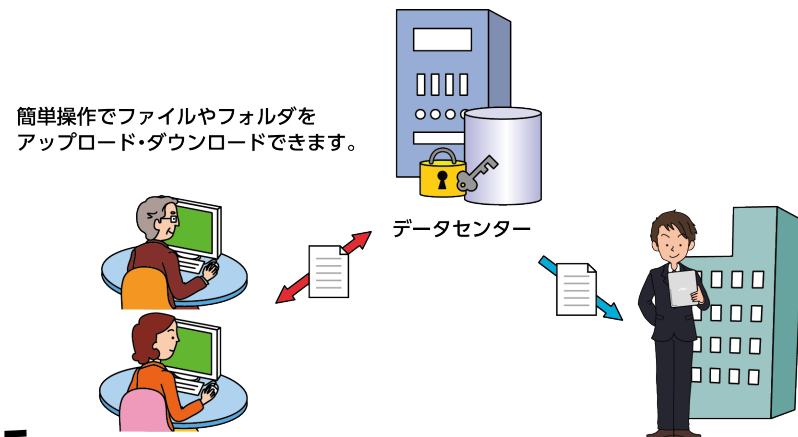
「達人Cube」をインストールするだけで無料で利用することができます。

【機能の概要】

・「達人シリーズ」のバックアップデータはもちろん、あらゆる電子データを外部のストレージに保存することが可能。

・ファイルのドラックアンドドロップによるカンタン操作でデータセンターへのアップロードが可能。

・タイマー設定により、指定したフォルダ内のデータを自動的にデータセンターにアップロードすることが可能。



アップしたファイルは、外出先などからインターネットを経由してタブレット端末からも閲覧が可能です。

【特長1】

データセンターへのアップロード・ダウンロードの際の通信はSSL通信により暗号化され、セキュリティも万全です。

【特長2】

データはNTTデータが運営するデータセンターに保管され、万全の体制で皆様のデータをお預かりします。

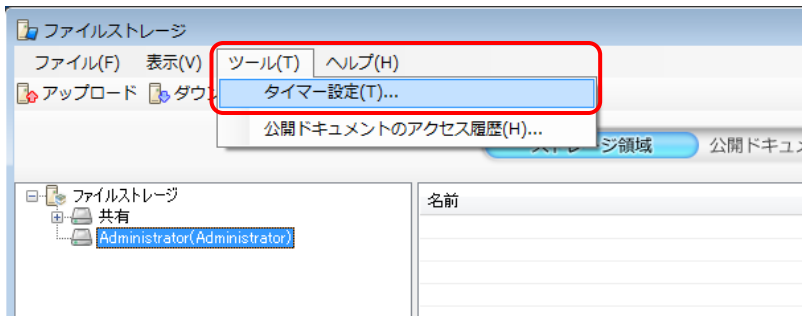
【特長3】

抜群のコストパフォーマンスで「達人シリーズ」はもちろん、あらゆる電子データを保管することができます。

【タイマー設定】

ファイルストレージはタイマー設定を行うことにより、自動的にファイルのアップロードを行うことが可能です。

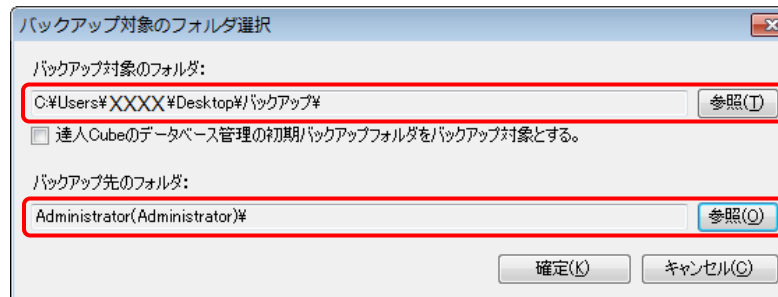
1.メニューバー[ツール]―[タイマー設定]をクリックします。



2.[タイマーバックアップを有効にする]にチェックをつけ、[追加]ボタンをクリックします。



3.バックアップ対象のフォルダ、バックアップ先のフォルダを設定します。

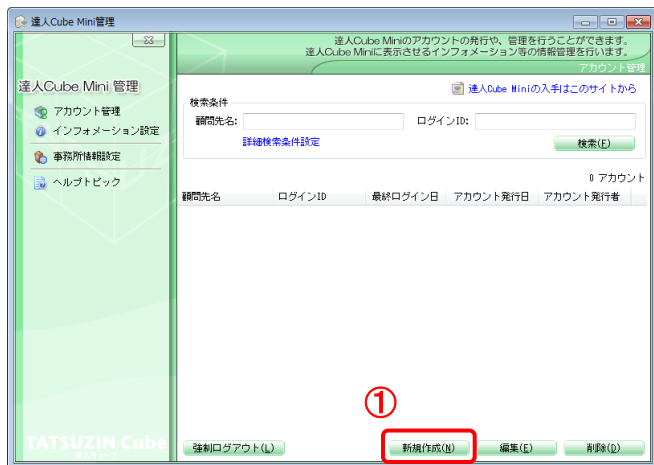


4.タイマーバックアップを実行するための設定を行い[確定]ボタンをクリックします。

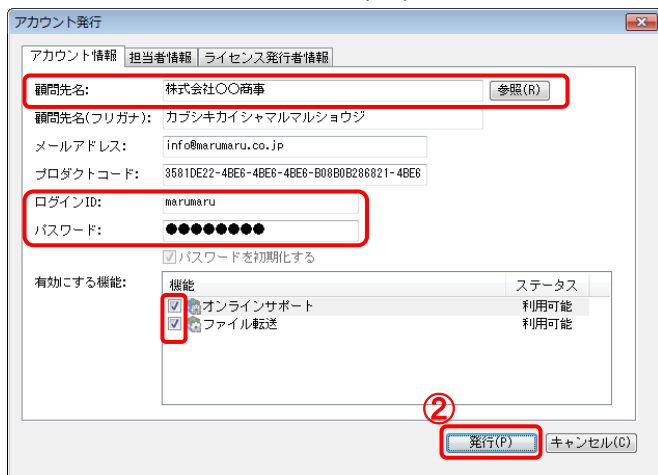


達人Cube Miniはインターネットを利用して会計事務所と顧問先とのコミュニケーションを強力にサポートする無償オンラインツールです。

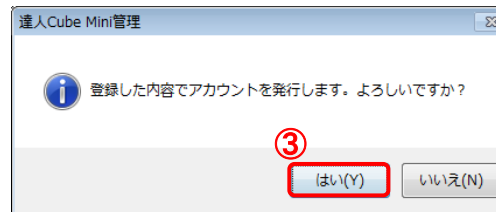
1. 達人Cube Mini管理を起動して、新規作成ボタン(①)をクリックします。



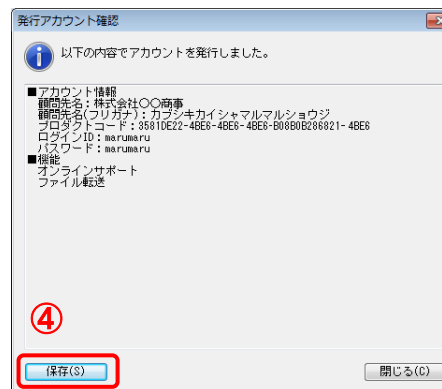
2. 顧問先名、ログインID、パスワード、有効にする機能にチェックをして発行ボタン(②)をクリックします。



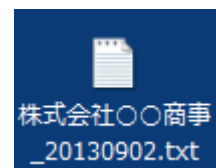
3. はいボタン(③)をクリックします。



4. 保存ボタン(④)をクリックして、発行アカウント情報を保存します。



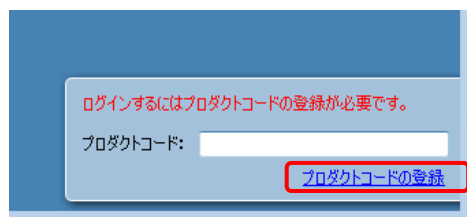
5. 保存されたテキストファイルを顧問先に渡します。



1. 達人Cube Miniダウンロードサイト (<http://www.tatsuzin-cube.com/DL/mini/>) からインストールする。



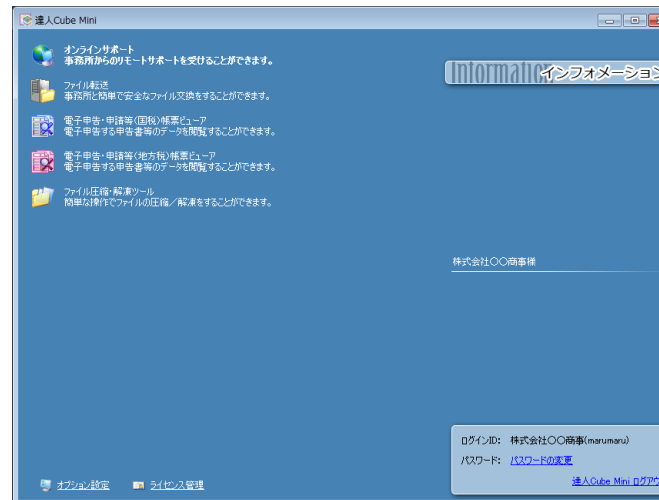
2. 達人Cube Miniポータルを起動して、プロダクトコードを入力してプロダクトコードの登録(①)をクリックします。



3. ログインID、パスワードを入力して達人Cube Miniログイン(②)をクリックします。

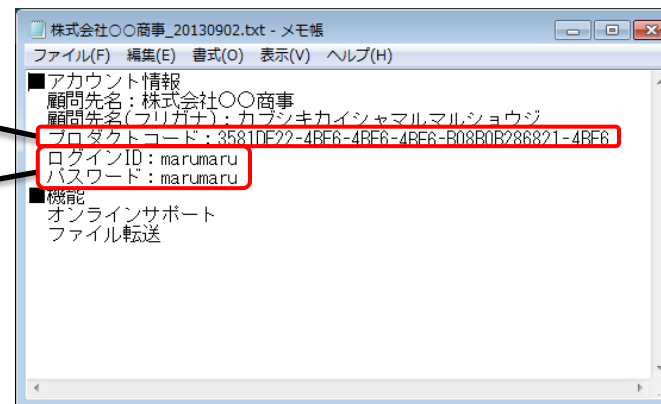


4. 達人Cube Miniが起動して、会計事務所からリモートサポートやファイル交換をすることができます。



【参考】

会計事務所で発行されたアカウント情報を入力します。プロダクトコード、ログインID、パスワードの入力は1度だけになります。



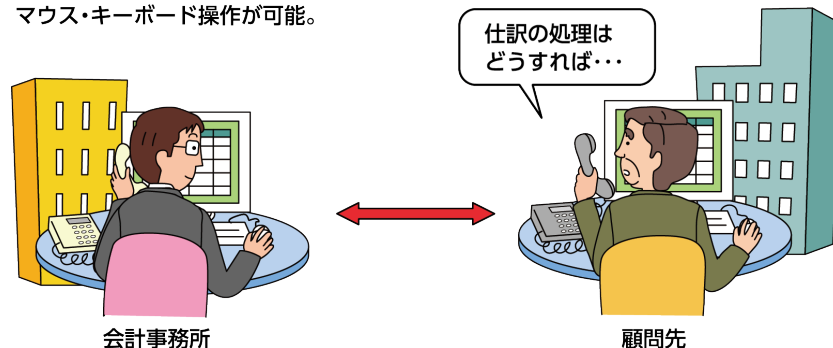
【機能の概要】

・遠隔地にあるパソコンをインターネット経由で安全に操作することができる便利な機能です。

・会計事務所にいながら顧問先のパソコン画面を見て、操作方法などを直接指導できます。

電話・ファックスの操作指導に比べ、ストレスなくお悩みを解消でき、顧問先の満足度向上につながります。

顧問先と同じ画面を表示し、マウス・キーボード操作が可能。



【特長1】

接続の都度、顧問先が許可しないと会計事務所から接続して操作することはできません。

【特長2】

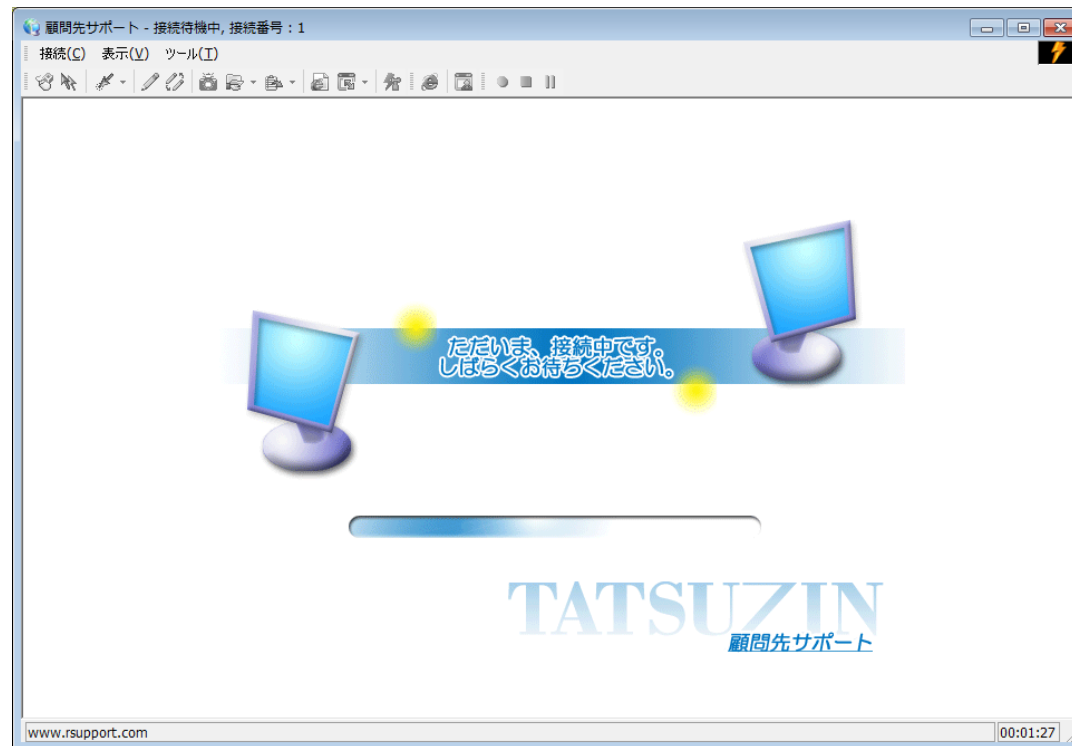
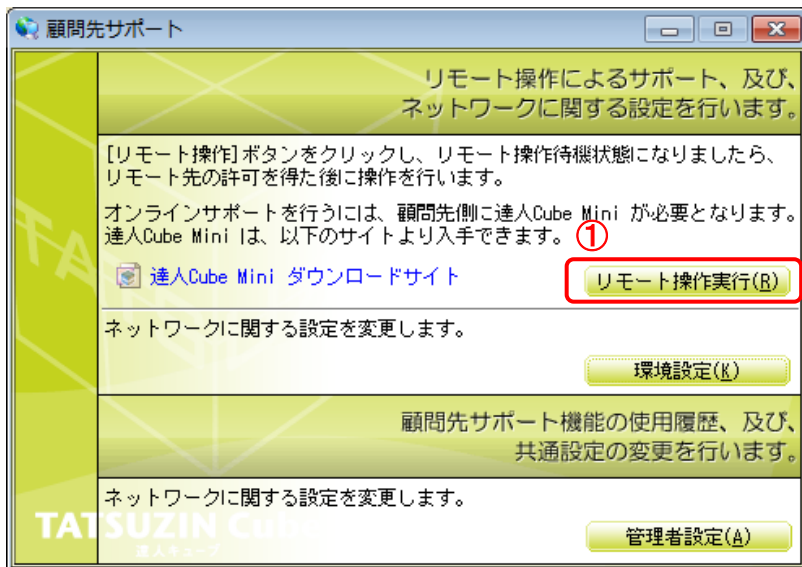
会計ソフトに限らず、ワープロ・表計算ソフト・メールソフトなど、あらゆる遠隔サポートが可能です。

【特長3】

すべての通信はSSL暗号化通信を使用しているため安全です。

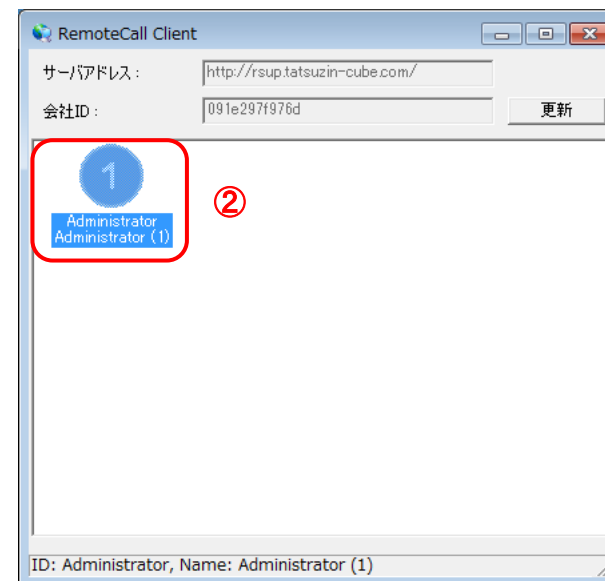
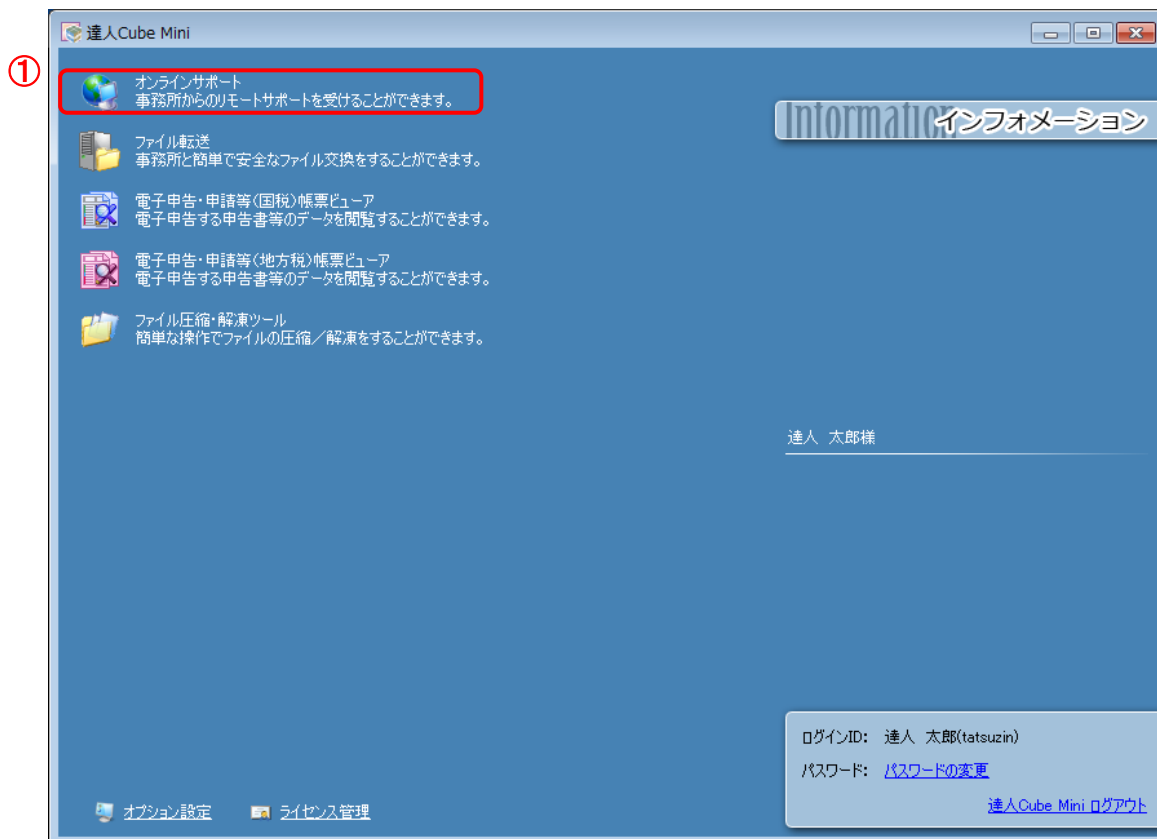
1.達人Cubeを起動して、顧問先サポートをクリックして、リモート操作実行ボタン(①)をクリックします。

2.待機状態になります。この状態で、顧問先からの接続が行われるまで待機します。



1. 達人Cube Miniを起動して、オンラインサポート(①)をクリックします。

2. [①]ボタン(②)をダブルクリックします。



【参考】

・ボタンが表示されない場合は？
 事務所側の待機状態が整っていません。または、タイミングによって事務所側の待機状態が反映されていません。[更新]ボタンをクリックして最新の状態にします。

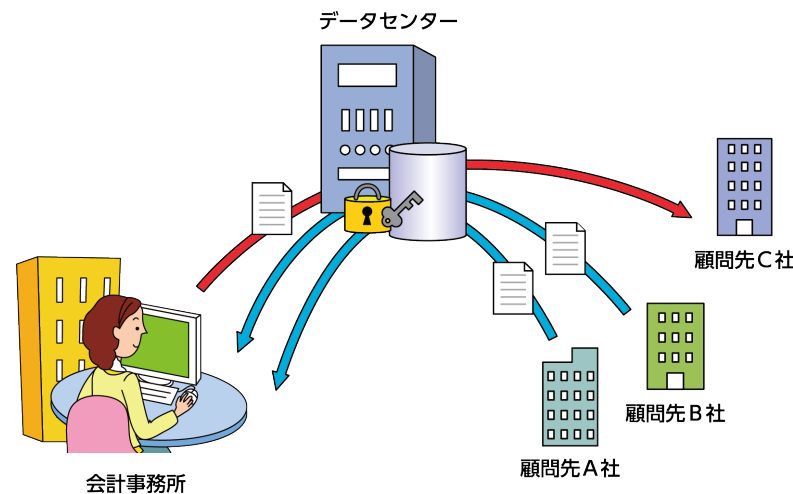


【機能の概要】

・機密データや大容量のデータをカンタンな操作で安全に送信することが可能。(データセンタ経由での送受信)

・メール配信機能により、ファイル送信と同時にメールでの配信通知が可能。

・履歴機能によりこれまでにファイルを送信した履歴も確認が可能。



【特長1】

あらゆる種類の電子データを1度に100MBまで転送できるので、USBメモリ等の可搬媒体の利用を減らすことができます。

【特長2】

ファイル転送時の通信はすべて暗号化されているため、安全にデータを送信することができます。

【特長3】

送信したファイルのステータス(ダウンロード済み、未受信等)が表示されるので、相手側の受取を確認することができます。

- Windows XPのサポート終了は2014年4月9日
- 情報セキュリティ事故の発生の確率を低くすること
- 情報セキュリティ事故が発生しても被害を最小限に抑えること
- 情報セキュリティ事故を起こさないために、会計事務所が取るべき行動
 - 1. 教育を行う
 - 2. ウイルス感染を防ぐ
 - 3. 情報を持ち出さない
 - 4. 電子化をする
 - 5. バックアップを取る
- パスワードは8文字以上(英字、数字、記号を含めて)

本日の研修会に関するお問い合わせは達人インフォメーションセンター(0120-554-620)へお問い合わせください。



NTT DATA

Global IT Innovator